

六中だより

令和3年4月30日発行

教育目標

- ・自らすすんで学ぶ人
- ・健康で心豊かな人
- ・責任を果たす人

生徒336名 家庭数324名

立川市立立川第六中学校

校長 加藤 隆司

立川市泉町786-16

TEL 042-537-3195

FAX 042-534-6954

URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh06/>

1年117名(男子64名 女子53名) 2年110名(男子58名 女子52名) 3年109名(男子58名 女子51名)

◆5月の重点目標「時間を意識して行動しよう」「身だしなみに気を配ろう」

見えにくいけど確実に頑張ってきた4月。連休と5月はどう過ごしますか

校長 加藤 隆司

連休を前に天気の良い日が続いています。緊急事態宣言によって人の流れを止め、「感染拡大を防がないと医療体制がパンクする可能性がある」という都の状況を考え宣言が出されました。市も宣言を受け市長の方針として学校の教育活動を一部制限し、行事も一部見直すこととなりました。部活動は公式大会も含めて参加しない。練習も練習試合もしないという指示が出されています。家庭で過ごすゴールデンウィークとなります。

夏季大会を目指している中学生にとっては貴重な練習期間ですが、感染が拡大してしまえば夏季大会も実施できなくなる可能性も含んでいることを理解していただき、今は我慢をお願いします。

4月も終わりを迎え、学校生活に慣れ、生徒本来の会話や姿を目にするようになってきました。この号は5月号なので5月に入ってから発行する予定でしたが、連休を前に5月号を出すことにしました。理由は2つあります。

ひとつは、まさに、ゴールデンウィークをどう過ごすかということです。

部活動も無くなってしまい、かといって家族で出かけたり、田舎のご親戚を訪問したりすることも可能な限り控えてほしいという状況の中、家庭を中心とした生活を連休中は求められています。

地域の商業施設でぶらぶらと時間を過ごすのも我慢するよう呼びかけられ、夜の店じまいも早く、本当に出かけることを我慢しなくてはならない状況です。必要最低限の外出に留め、感染予防を徹底して過ごさなくてはなりません。

出かけられないストレスもたまると思います。でもここはひとつプラスに考えましょう。

新学期から目標を立てて頑張ってきたが、やや疲れも出てきたところだと思います。この連休は体と心を休める機会にしましょう。外に出ることがストレス発散だという人もいますが、家庭にいる時間を多くても気分転換が出来るように工夫することを学ぶよい機会です。

私は、本を読んだり、撮り溜めていたテレビ番組を見たり、おいしいコーヒーを淹れたり、家の中でのリフレッシュを工夫しています。どうしても外へと思う時には、人の少ない時間、近所の方々が育てている草花を眺めながら散歩することや食材の買い物を手伝うこと、お風呂や部屋を掃除したりして気分転換をしてきました。習慣というもの面白いもので数日同じように行動すると、その行動をしないと逆に落ち着かなくなってしまうことわかりました。習慣にすれば性格も運命も手繰り寄せられるとマザーテレサの言葉にあります。この言葉を信じて、この連休中にリフレッシュと、良い習慣の定着に努めてほしいと思います。

もうひとつは、進級・進学によってスタートした新しい生活の中ですが、ひと月が過ぎて気持ちや行動が揺らいできている様子が散見されるようになってきた点についての話です。

頑張ってきたスタートしてみたものの、なかなか学力も体力も生活の状況も向上しているようには感じない人もいます。単純に疲れた、飽きたという人もいるかもしれません。私もそうですが、頑張っても成果が感じられないときは次への意欲が出てこないものです。まして結果が良くないことがあると「もうやめた」と言いたくもなります。でもちょっと見方を変えてみましょう。少なくとも今日までは良い習慣をつけようと努力を重ねてきたはず。言葉遣いだったり、家庭学習だったり、授業に取り組む姿勢だったり、部活に臨む姿勢だったり。なかなかその積み上げた量は見えにくいですが、続けたことは確実に力になっています。

草木に花が咲いても翌日に実が成るわけではありません。何日もあとになっていつの間にか大きな実になっていたり種ができていたりするものです。皆さんの努力もつい一月前に始まったばかりです。それが本物になって成果が出るまでもう少しかかります。でも今日まで頑張ってきた事実は残ります。もう少し続けていきましょう。

さて気になる話が聞こえてきています。小学校の頃利用していた SNS が、トラブルの原因になり始めているようだという情報です。

本校にも SNS ルールがあります。他人をからかったり嫌がらせになったりする利用方法は禁じています。何が良く何が悪いか判断できるのが六中生だと信じています。指導を正しく理解してトラブルを避けましょう。またご家庭でも気かけ言葉をかけ、頑張りやを認めて励ましながら支えていただきますようお願いいたします。元気に5月を迎えましょう。

全校オリエンテーション <4月9日(金)>

今年度の全校オリエンテーションは、2・3年生と1年生とに分けて行いました。校内の過ごし方のルールを説明し、また、困った時の相談窓口や昼食時間のルール、保健室の利用の決まりなど、小学校と違う部分を確認しました。



異動された先生方より、みなさんへメッセージをいただきました

加藤 佳津雄 先生(プラス)

六中には2回勤務し、合計19年間お世話になりました。ありがとうございました。六中では、行事や部活動に全力で取り組む生徒の姿からたくさんのエネルギーをもらいました。人は誰でもいい所をたくさんもっています。大切なことは、「いい所を生かせる環境を作ること」です。皆さんのご活躍を祈っています。

西嶋 明子 先生(数学科)

立川六中のみなさん、ご進級・ご入学おめでとうございます。六中の生徒はみんなとても明るく、行事などでいつも以上に力を発揮していたことが印象的です。よりよい六中を目指して、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。これからも応援しています。今までありがとうございました。

山口 敬子 先生(数学科)

1年間という短い期間でしたが、充実した時間を過ごすことができました。それは、きっと皆が何事にも一生懸命取り組んでいる姿を見せてくれたおかげです。皆のおすすめ本は私の知らない世界を広げてくれました。個性豊かな新聞は、とても興味深く読んだことを覚えています。これからも自分の力を発揮してください。1年間ありがとうございました。

齋藤 ひとみ 先生(保健体育科)

約1年という短い間でしたが、本当にお世話になりました。六中生の明るく元気で、素直なみなさんと過ごした日々は忘れないと思います。これからも変わらず元気でいてください。陸上競技部の外部指導で六中に行くことがありますので、その時は挨拶してくれたら嬉しいです。今までありがとうございました。

小野 由樹子 さん(プラス専門員)

六中の皆さん、ご入学、ご進級おめでとうございます。私は六中で2年間プラス専門員として、毎日プラスの職員室にいたので知らない人もいると思います。でも、検診のお手伝いなどで私は皆さんのことを懐かしく思い出しています。そして何より、プラスに通室していた皆さんと突然のお別れとなり、今でも淋しい気持ちでいっぱいです。それでも4月からは気持ちを新たに六中の皆さんの笑顔と元気パワーをもらったので、立川一中のプラス専門員としてお仕事しています。どこかで見かけたらぜひ声を掛けてくださいね。

【5月の予定】

- 6日(木) 専門委員会
- 7日(金) 中央委員会 定期考査1週間前
避難訓練 地区班編成⑥ 心臓健診整理日
- 8日(土) 土曜授業①～③
- 10日(月) 全校朝礼 安全指導
- 14日(金) 中間考査(全学年)
1年生：①国語 ②数学 ③社会 ④理科 ⑤学活
2・3年生：①国語 ②数学 ③社会 ④理科 ⑤英語
- 17日(月) 生徒会朝礼
- 18日(火) 尿検査2次①(全学年)
- 19日(水) 尿検査2次②(全学年) 内科検診(3年)
- 20日(木) 生徒総会リハーサル 眼科検診(全学年)
- 21日(金) 朝礼(体育大会実行委員会) 生徒総会
英語検定
- 24日(月) 全校朝礼 教育実習(理科・音楽)
耳鼻科検診(全学年)
- 26日(水) 内科検診(2年)
- 27日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
※予定は急遽変更になる場合があります。
ホムパ・ズ等をご確認ください。

【5月のスタディールーム】

7日(金)・10日(月)・13日(木)
24日(月)・31日(月)

※スタディールーム・チャレンジ教室とは

参加は事前申し込みで、放課後本校の図書室や特活室で週2～3回程度、約1時間前後でおこなっています。市の生涯学習センターから派遣された学習支援員、学校支援員、特別支援教室担任が、放課後、生徒たちの学習面をサポートしています。状況により、各教科教員も入ります。